

# 事業報告書

平成29年度

社会福祉法人 豊寿福社会

軽費老人ホーム 豊寿苑

# 目 次

## 1、法 人 と 施 設

- (1) 施設の概要および沿革
- (2) 施設運営の基本方針
- (3) 役員名簿
- (4) 利用者名簿
- (5) 寄附金について

## 2、処 遇 に つ い て

- (1) 豊寿苑職員に求められる適性と行動基準
- (2) 会議の状況
- (3) 利用者に関する記録
- (4) 行事について

## 3、利 用 者 に つ い て

- (1) 利用者の収入状況について
- (2) 入所前の住所について
- (3) 利用者の在苑期間について
- (4) 利用者の年齢について
- (5) 利用者の縁故者状況
- (6) 利用者の入退苑

## 4、医 務 に つ い て

- (1) 在苑者の入院回数
- (2) 入院者の状況
- (3) 病名別人数

## 5、給 食 に つ い て

- (1) 一日の栄養基準量について
- (2) 給食会議
- (3) 行事食
- (4) 献立表抜粋

# 1、法人と施設

## (1) 施設の概要

設 置	社会福祉法人 豊寿福社会
施設の名称	軽費老人ホームA型 豊寿苑
入所者定員	50名
位 置	長野市篠ノ井岡田 3241 番地
土 地	所 有 地 2,617.95㎡ 長 野 市 より借 地 961.24㎡ 合 計 3,579.19㎡
建 物	鉄 筋 コンクリート造 二 階 建 延 床 面 積 1,923.62㎡ 平成 16 年 7 月 30 日 増改築工事竣工

## (2) 沿 革

昭和54年 9月26日	厚生省に社会福祉法人の設立認可の申請を行う。
昭和55年 7月 1日	厚生省より社会福祉法人 豊寿福社会の設立認可を受け る。
昭和55年 7月16日	長野地方法務局に法人の設立を行う。 初代理事長として中居四郎氏が就任する。
昭和55年10月15日	財団法人日本船舶振興会より軽費老人ホーム豊寿 苑の建設資金として 151,700,000 円の補助金の交 付を受ける。
昭和55年11月11日	軽費老人ホーム 豊寿苑の建設に着手する。 設 計 (株) ナカイ設計事務所 主 体 工 事 (株) 守谷商会 設 備 工 事 日新工業 (株) 設 備 工 事 丸十電気工事 (株) 設 備 工 事 伊東産業 (株) 長野支店
昭和56年 5月31日	軽費老人ホーム豊寿苑の建設を完了する。
昭和56年 6月 1日	長野県より軽費老人ホーム豊寿苑運営開始の許可を受ける。 初代苑長として宮下豊次氏が就任する。
昭和56年10月29日	社会福祉事業振興会より軽費老人ホーム豊寿苑の建設資金 として 80,000,000 円の借入を行う。
昭和57年 3月24日	二代目苑長として中居 光氏が就任する。
昭和58年 8月15日	財団法人日本船舶振興会の会長 笹川良一氏が来苑し入 居者と親しく懇談する。
昭和61年10月13日	二代目理事長として深沢 博氏が就任する。
平成 3年 5月24日	創立 10 周年記念式典を挙げる。
平成 5年11月 1日	豊寿苑増改築工事を行う。(54.82㎡増築)
平成 8年 7月17日	三代目理事長として瀧澤益貴氏が就任する。
平成 9年 4月 6日	三代目苑長として瀧澤昌直氏が就任する。
平成11年10月 4日	四代目理事長として齋藤政雄氏が就任する。

- 平成12年10月 1日 四代目苑長として風間静也氏が就任する。
- 平成15年12月25日 豊寿苑増改築工事の指名競争入札が行なわれる。  
滝澤建設(株)に落札決定
- 平成15年12月26日 豊寿苑増改築工事、滝澤建設(株)と92,400,000円(消費税含む)にて契約がなされる。
- 平成16年 4月15日 独立行政法人福祉医療機構より豊寿苑増改築工事建築資金として31,100,000円借入を行う。
- 平成16年 8月26日 日本財団より豊寿苑増改築工事助成金として68,200,000円交付を受ける。
- 平成16年 9月30日 豊寿苑増改築工事竣工式が行われる。
- 平成17年11月28日 日本財団より福祉車両助成金交付決定。
- 平成19年 3月17日 豊寿福祉会と段ノ原区並びに本組区と、それぞれ災害協定を締結する。
- 平成20年 5月12日 五代目苑長として佐藤壽憲氏が就任する。
- 平成21年 2月12日 六代目苑長として渡辺 悟氏が就任する。
- 平成22年 5月21日 郵便事業(株)より年賀寄付金分配決定。  
(暖房用配管修繕工事)
- 平成22年 7月19日 五代目理事長として松坂 賢氏が就任する。
- 平成23年 1月28日 不在者投票施設指定許可を受ける。
- 平成23年 3月30日 社会福祉法人長野県共同募金会より助成金交付決定。  
(自動火災報知設備・非常用放送設備の改修工事)
- 平成23年 4月 1日 財団法人JKAより福祉車両(車いす対応)助成金交付内定。
- 平成24年 7月20日 六代目理事長として小笠原 安雄氏が就任する。
- 平成24年 9月 30周年記念誌を発刊する。
- 平成25年 4月 5日 苑長代行として小笠原 安雄氏が就任する。
- 平成25年 5月 屋根塗装・廊下床張替工事实施。
- 平成25年 9月30日 長野県より介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金をうけ  
スプリンクラー設備を設置する。
- 平成26年 2月 長野市より建築物耐震改修促進事業補助金をうけ耐震診断を実施。
- 平成26年 2月20日 太陽光発電システム設備設置工事完了。発電開始。
- 平成26年 4月17日 エアコン及び高圧受電設備設置工事完了。
- 平成27年 3月20日 係争事件は長野地方裁判の判決が下り、当法人の勝訴となるも2週間の控訴期間があり結審は相手方の出方次第となる。
- 平成27年 4月 9日 2週間の控訴期間が過ぎ相手方より控訴がないため、当法人の勝訴で結審となる。
- 平成27年 6月30日 玄関屋根防水改修・照明器具取替工事完了。
- 平成27年12月10日 2階屋根防水改修工事完了。
- 平成28年 1月 5日 7代目苑長として西 助雄氏が就任する。
- 平成28年 5月 浄化槽配管修繕工事完了。
- 平成28年 7月 給湯用ボイラの入替工事。
- 平成28年12月 7日 廊下エアコン設置工事完了。
- 平成29年 8月 1日 8代目苑長として東海林 貴晃氏が就任する。

平成29年11月 1日 受水槽ボルトキャップ取付工事完了

平成29年12月 8日 長野市介護保険関連サービス基盤整備補助金をうけ  
防犯設備設置工事完了する。

# 平成29年度事業計画

## 理念

豊寿苑は地域社会の支持を受けて、高齢者が地域で安心して生活を送ることができる拠点施設となることを使命とし、

1. 高齢者の生活と人権を擁護するため、自己点検を強化し、公平・公正な開かれた施設運営に努めます。
2. 利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、可能性の実現と生活の質の向上に努めます。
3. 常に誠意をもって質の高いサービスが提供できるよう、研修・研究に励み、専門性の向上に努めます。
4. 地域社会の一員としての自覚を持ち、保険・医療等関連分野との連携を強化し、地域福祉の向上に努めます。
5. 信頼性の高い効果的・効率的経営の観点から、安定的な財務基盤の確立と適切な財務管理・会計処理を行います。

## 基本方針

1. 権利擁護の徹底  
サービス評価基準を元に自己点検を繰り返し実施し、継続的な権利擁護に関する取り組みを実践する。
2. 低所得者への配慮  
介護保険サービス、障害福祉サービス等、負担軽減に関する取り組みを積極的に支援し、良質且つ安心・安全なサービスの提供を実践する。
3. 人材の育成  
外部研修の成果が職場全体に活かされる仕組みを構築する。
4. 地域における福祉の推進  
学校教育への協力、ボランティアの受け入れ等を積極的に行うと共に、地域包括ケアシステムを有効的に利用し、住民主体による福祉実践に向けての取り組みを行う。
5. コスト意識の醸成  
職員全体のコスト意識を醸成するための取り組みを行う。

## 重点実施事項

### ◎ 全般（施設長）

- ・ 建物のメンテナンスに留意し耐用年数の延伸を計る。  
外構・非常階段・ドレーン・フェンス・外壁等、経年劣化による補修繕に努める。  
助成金の獲得に努力する（共同募金・年賀郵便・日本財団・役所等）
- ・ セキュリティの敷設をする。
- ・ 年度当初に部署ごとの教育訓練計画を立て、実践していく。
- ・ 外部研修の成果を職員全員が共有できるよう、研修発表の機会を設け社会福祉の向上を計る。
- ・ 社会福祉法人経営の外部研修に役員の参加を計り、状況、情報の把握に努める。
- ・ 個人情報、守秘義務等に関する整備研究及び実践。
- ・ 営業・広告媒体等により入居者の増加に努める。

### ◎ 生活部門

- ・ 入居者の確保及び施設移動を的確にするため、苑の待機者状況や生活困難予想者の情報を長野市・包括支援センター・ケアマネジャー等と共有をする。
- ・ 介護保険サービス利用者の情報（デイ及び苑での生活状態）をケアマネジャーと共有し、苑での生活を出来る限り維持できるようにする。

### ◎ 介護部門

- ・ サービス計画書の実践及び、必要に応じ再アセスメントを行う。
- ・ 日々の観察と傾聴に努め安心安全な生活への援助をしていく。

### ◎ 給食部門

- ・ 平成28年度は厨房内の食器洗浄機を入れ替える事ができ水量の軽減が期待できる。今年度は経年劣化しているエアコンを入れ替え夏の暑さに備え食中毒予防を強化したい。その他の厨房機器もメンテナンスに留意していきたい。
- ・ 給食懇談会等入居者の声を参考にして献立、調理法に反映させ希望に添うよう細部に配慮する。

### ◎ 医務部門

- ・ 感染及び食中毒の予防及び蔓延の防止に努める。
- ・ 平常時から予防対策を実施。感染症発生時には適切な対応をする。
- ・ 利用者の健康状態（身体的・精神的）を把握し、状態の変化を注意深く観察し異常の早期発見に努める。

### ◎ 事務部門

- ・ コンプライアンスを遵守し、正確に事務業務を行う。
- ・ 日々の業務をデータ化し、同じミスを繰り返さないよう見直す。

(3) 役員名簿

(理事)

理事長	小笠原 安雄	理事	松坂 賢
理事	伊藤 英利	理事	清水 彰治
理事	丸山 都男	理事	小山 岑晴
理事	山崎 恒政	理事	東海林 貴晃
		計	8名

(監事)

監事	高橋 宏	監事	島田 庸夫
		計	2名

(評議員)

評議員	町田 和富	評議員	西澤 毅洋
評議員	小河原 好友	評議員	望月 義寿
評議員	山浦 弘	評議員	桑原 正道
評議員	吉岡 角男	評議員	太田 信
評議員	島田 宗四郎	計	9名

(4) 利用者名簿 別 添

(5) 寄附金について 平成29年度 寄附金 4件 82,210円



## 豊寿苑在苑者 年齢順名簿

入苑順	NO	男順位	女順位	氏名	年齢	生年月日
272	1		1	H. T	98	大正 8 6. 2 2
252	2		2	K. T	97	大正 9 4. 4
239	3		3	T. T	96	大正 1 0 1 2. 1 3
281	4		4	M. T	95	大正 1 1 7. 4
290	5		5	M. O	95	大正 1 2 2. 1
305	6		6	M. K	91	大正 1 5 8. 1 7
282	7	1		T. H	89	昭和 3 8. 2 0
211	8		7	M. H	89	昭和 3 1 1. 1
304	9		8	M. S	89	昭和 4 3. 2 5
220	10		9	S. S	88	昭和 5 2. 1 2
265	11		10	K. H	88	昭和 5 3. 2 6
270	12		11	M. Y	87	昭和 5 4. 1
216	13		12	K. H	87	昭和 5 5. 1
289	14		13	S. S	86	昭和 6 7. 2 6
224	15		14	Y. Y	86	昭和 6 9. 2 4
306	16		15	T. H	86	昭和 7 1. 1
275	17		16	H. O	86	昭和 7 3. 2 0
278	18		17	Y. Y	85	昭和 7 4. 2 0
280	19		18	M. Y	85	昭和 7 1 0. 2 5
284	20		19	M. M	85	昭和 8 2. 1 5
244	21		20	M. T	84	昭和 9 1. 1 8
300	22		21	K. O	84	昭和 9 1. 2 5
303	23		22	T. T	83	昭和 9 4. 1 2
238	24	2		M. A	82	昭和 1 1 2. 1 3
240	25		23	T. Y	81	昭和 1 1 8. 1 4
295	26	3		H. Y	80	昭和 1 2 5. 1 7
242	27	4		S. H	80	昭和 1 2 1 0. 2 1
222	28		24	H. N	80	昭和 1 2 1 2. 3
291	29		25	S. N	79	昭和 1 3 8. 1
277	30		26	T. K	79	昭和 1 3 8. 2 8



## 2. 処 遇

### (1) 苑職員に求められる大切な心

1. ハイという素直な心
2. スミマセンという反省の心
3. オカゲサマという謙虚な心
4. アリガトウという感謝の心
5. サセテクダサイという奉仕の心

### (2) 会 議

会 議 名	開 催 数	参 加 者	目 的
職員会議	毎月1回	全職員	職員間の業務連絡調整 行事实施の打ち合わせ
ケース会議	毎月1回	全職員	処遇方法についての検 討
給食懇談会	隔月1回	利用者 (1回8名) 栄養士	利用者より意見、要望 を聞き現場に反映させ る
茶話会	毎月1回	全職員 利用者	利用者の意見、要望の 収集 苑からのお願い事項

### (3) 利用者に関する記録

※ 数値は平成29年度の年間数値を示す

面会者	延人数	997人	外泊者	延人数	30人
通院バス	運行回数	46回	買い物バス	運行回数	24回
	延利用者数	188人		延利用者数	213人

ビデオ	開催回数 延参加人数	10回 130人	書道クラブ	開催回数 延参加人数	12回 102人
ちぎり絵クラブ	開催回数 延参加人数	11回 66人	カラオケ クラブ	開催回数 延参加人数	11回 123人
川柳	開催回数 延参加人数	7回 32人	健康体操 クラブ	開催回数 延参加人数	34回 771人
マレットゴルフ	開催回数 延参加人数	9回 38人	おりがみ	開催回数 延参加人数	12回 66人
童謡・唱歌	開催回数 延参加人数	3回 55人			

## (4)行事について

平成29年度行事実施表

月	日	行事名	参加人数	月	日	行事名	参加人数
4	13	お花見(松仙閣)	44	10	5	文化祭(作品展)	22
	20	春の大掃除(すのこ)	13		12	映画会(雨あがる)	35
					19	遠足(ホテルセララン)	22
5	11	火災訓練	47	11	8	火災訓練	39
	18	遠足(松代荘)	21		9	室内運動会	37
	30	共和保育園交流会	21				
6	5	しょうぶ湯	45	12	12	共和保育園交流会	9
	27	ハーモニカボランティア	22		14	年忘れお楽しみ会	43
					20	ゆず湯	41
7	6	共和小学校交流会	17	30年 1	18	新春お楽しみ会	35
	13	遠足(ホテルグリーンプラザ)	18				
	20	室内運動会	37				
8	3	七夕祭り	46	2	1	節分豆まき	43
	18	お盆の法要	30		15	室内運動会	38
9	7	敬老の集い	49	3	15	お彼岸法要	32
	14	敬老食事コース	49		22	映画会(美女と野獣)	26
	21	お彼岸の法要	39				

## 平成29年度行事実施表（防災訓練関係）

実施日	訓練内容
5・11	通報、初期消火、避難誘導訓練
7・6	夜間訓練. 宿直者、非常通報装置を作動させ、職員苑に集合
9・1	篠ノ井消防署・共和地区消防団・共和駐在所との総合訓練
11・8	通報、初期消火、避難誘導訓練
1・17	地震訓練
3・1	通報、初期消火、避難誘導訓練

### （5）総括

① 身体機能低下により退苑者の多い一年であった。

入居者の確保が難しく、近隣の地域包括支援センター等に協力を得ているが、対象者がいないため入居に至らない状況である。

居室内での転倒も多く、改めて居室内の環境を見直すことが必要と思われる。

② リスクマネジメントの大切さを痛感した一年であった。

今後、リスクマネジメントの意識を向上させていきたい。

### 3. 利用者

#### (1) 利用者の収入状況

種 類		男 性	女 性	個 別 計	合 計
厚生年金	老 齢 年 金	0	3	3	35人 (80%)
	老 齢 基 礎 年 金	6	18	24	
	通 算 老 齢 年 金	0	0	0	
	障 害 年 金	0	0	0	
	遺 族 年 金	0	8	8	
国民年金	老 齢 年 金	2	3	5	9人 (20%)
	通 算 老 齢 年 金	0	0	0	
	老 齢 基 礎 年 金	0	3	3	
	障 害 年 金	1	0	1	
共済組合	退 職 年 金	0	0	0	0人
	遺 族 年 金	0	0	0	(0%)
恩 給	普 通 恩 給	0	0	0	0人
	普 通 扶 助 料	0	0	0	( 0%)

※ 2箇所以上の年金受給者は受給額の多いほうで表示してあります。

## (2)入所前の住所について

地 区 名	現在入所中の利用者
長 野 市	33人 (75%)
北信地区	6人 (14%)
東信地区	3人 ( 7%)
中信地区	1人 ( 2%)
南信地区	0人 ( 0%)
他 府 県	1人 ( 2%)
合 計	44人 (100%)

## (3)利用者の在苑期間について

在苑期間	人数(割合)	在苑期間	人数(割合)
1年未満	7人(16%)	7～ 8年	1人( 2%)
1～2年	5人(11%)	8～ 9年	1人( 2%)
2～3年	5人(11%)	9～10年	4人(10%)
3～4年	5人(11%)	1 0～11年	2人( 5%)
4～5年	3人( 7%)	11年 以上	5人(11%)
5～6年	3人( 7%)	合 計	44人(100%)
6～7年	3人( 7%)		



(4)利用者の年齢について

	男 性	女 性	合 計
69歳以下	1人	0人	1人
70～74歳	2人	4人	6人
75～79歳	2人	7人	9人
80～84歳	3人	5人	8人
85～89歳	1人	13人	14人
90歳以上	0人	6人	6人
合 計	9人	35人	44人

平均年齢 全体82.6歳 男性76.6歳 女性84.2歳

(5)利用者の縁故者状況

配偶者と子のいる者	0人	子のいる者	24人
配偶者のいる者	0人	親族のいない者	0人

(6)本年度の入退苑者

区 分	家 庭	1人暮らし	医療機関	他施設	その他	計
入苑者数	2人	4人	2人	0人	0人	8人
退苑者数	0人	0人	4人	4人	3人	11人
備 考				老健 2 ケアハウス1 有料 1		

退苑理由	身体機能低下	認知症	家庭復帰	死 亡	その他
人 数	5人	2人	0人	3人	1人

利用者の年齢について					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
69歳以下	4	2	0	0	1
70～74歳	5	5	5	7	6
75～79歳	7	7	9	11	9
80～84歳	15	14	10	8	8
85～89歳	9	9	13	13	14
90歳以上	10	11	10	8	6
合 計	50	48	47	47	44
全体平均	82歳	83歳	84歳	83歳	82歳
男性平均	79歳	80歳	82歳	78歳	76歳
女性平均	83歳	83歳	84歳	84歳	83歳
男性数	10	7	5	7	9
女性数	40	41	42	40	35
入退苑者数					
入 苑					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家 庭	2		1	2	2
1人暮らし	1	5		6	4
医療機関			4		2
他施設	2	1	1	1	
その他					
合 計	5	6	6	9	8
退 苑					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家 庭	1	1			
1人暮らし				2	
医療機関	2	5	5	2	4
他施設	1	2	2	3	4
その他	1			1	3
合 計	5	8	7	8	11

## 4. 医 務

### 1 総 括

1) 感染症については、平常時から予防対策行い、インフルエンザ・ノロウィルス流行することなく過ごすことが出来ました。今後も、感染対策委員会・研修を実施し感染症に対して意識を高めていきたい。

2) 高齢者の特徴を知り(加齢による影響など)状態の変化、急変の前兆に気付く力を身につけていきたい。

3) 精神面が安定し生活していけるように、メンタルケアを大切にしていきたい。

### 2 在 苑 者 の 入 院 者 数

年 度	男 性	女 性	合 計	帰 苑
平成22年度	2	7	9	9
平成23年度	1	9	10	4
平成24年度	1	3	4	3
平成25年度	1	6	7	3
平成26年度	4	6	10	6
平成27年度	1	10	11	5
平成28年度	0	7	7	2
平成29年度	3	15	18	11

### 3 入院者の状況

科名	病名	性別	年齢	転帰
外科	大腸内視鏡検査	男	80才	軽快
内科	心因発作	男	80才	軽快
内科	てんかん重積状態	男	80才	軽快
眼科	白内障	女	91才	軽快
救急	くも膜下出血	女	91才	退苑
リハビリ	骨粗鬆症・多発脊椎圧迫骨折	女	92才	軽快
内科	誤嚥性肺炎	女	88才	軽快
整形外科	左大腿骨骨折	女	88才	退苑
内科	浮腫・呼吸苦	女	91才	軽快
救急	急性心筋梗塞	女	91才	退苑
整形外科	左変形性膝関節症手術	女	79才	軽快
精神	貧血	女	86才	退苑
整形外科	恥骨骨折	女	85才	退苑
整形外科	右大腿骨骨折	女	91才	軽快
外科	憩室炎・大腸癌	女	78才	入院中
内科	肺炎	女	82才	軽快
内科	誤嚥性肺炎	女	87才	退苑
整形外科	腰椎圧迫骨折リハビリ	女	75才	軽快

### 4 病名人数

病名	男性	女性	合計
高血圧症	6	24	30
脳卒中後遺症	2	7	9
心疾患	1	8	9
高脂血症	1	13	14
糖尿病	3	7	10
気管支喘息	0	2	2

病名	男性	女性	合計
肺疾患	1	4	5
腰部頸椎管狭窄症	0	2	2
慢性骨髄炎	0	1	1
肝機能障害	2	2	4
大腸癌術後	0	2	2
神経・精神疾患	0	8	8
胃腸障害	0	4	4
大動脈解離	1	1	2
前立腺肥大症	2	0	2
不眠症	0	5	5
腰痛症	1	3	4
認知症	1	4	5
骨粗鬆症	0	5	5
パシエット病	0	1	1
乳癌	0	2	2
白内障	0	10	10
膝関節症	0	3	3
てんかん	1	3	4
HBVキャリア	0	1	1
その他	4	16	20

# 5 給食

## 総 括

食事が楽しみの一つとなるよう常に工夫し、かつ各個人の嗜好を十分に考慮した献立を作成し、年齢に合わせた調理を行うように心がけた給食を実施した。

### (1) 一日の食事摂取基準について

本年度における、利用者一人の一日に摂取して頂きたい目標量及び実績は下記のとおりである。

目標	エネルギー	1 5 5 1 kcal	実績	1 5 5 5 kcal
	蛋白質	5 1 . 5 g ~		6 5 . 3 g
	脂肪	4 1 . 5 g		4 2 . 1 g

### (2) 給食会議

隔月に、利用者数名と栄養士とが会議を開き、(すべての利用者が年間一回の参加) 給食関係の問題について意見の交換及び献立評価を行った。この会議において利用者の嗜好調査を行いおでん、茶碗蒸、もつ煮、丸干、キノコ料理、コロッケ、さつま芋料理、天ぷら、パン食、うどんなどとりいれた。

### (3) 行事食

変化の乏しい日常生活の中で、季節感を取り入れ普段と場所や器を変えての会食は、利用者の楽しみの一つである。

(4) 献立表抜粋 (3月25日～3月28日)

	朝食	昼食	夕食
25 日	麦入七分搗ご飯 白菜と人参味噌汁 チンゲン菜炒物 きゃらぶき 焼サバ 大根おろし 味のり	カレー ブロッコリー卵サラダ 福神漬 ヨーグルト	麦入七分搗ご飯 じゃが芋小松菜味噌汁 丸干焼 生姜甘酢漬 ホタルイカ若布あえ なばなおひたし 牛乳又はヤクルト
26 日	麦入七分搗ご飯 かぶ味噌汁 きゃべつシラス炒 しそ昆布 そばの実なめこ 大根おろし 味のり	麦入七分搗ご飯 酒粕汁 カキ&エビフライ かぼちゃのだし煮 白菜漬	麦入七分搗ご飯 小松菜人参味噌汁 手作りハンバーグ 大根とタコ酢の物 たかな漬 牛乳又はヤクルト
27 日	麦入七分搗ご飯 玉葱と若布味噌汁 レタスとハム炒 鮭水煮 おかか昆布 大根おろし 味のり	ヒレカツ丼 かぶ味噌汁 白菜とりんごサラダ漬	麦入七分搗ご飯 大根と人参味噌汁 さわら西京漬 蕨の炒煮 雪菜おひたし つぼ漬 牛乳又はヤクルト
28 日	麦入七分搗ご飯 きゃべつ人参味噌汁 茄子としらす炒煮 厚焼卵 あさり昆布佃煮 大根おろし 味のり	ざるそば 天ぷら りんご煮	麦入七分搗ご飯 なめこ葱味噌汁 鯖のはちみつ醤油煮 じゃが芋エンドウ煮物 ほうれん草あえ 牛乳又はヤクルト

